

社会福祉法人日野市民たんぽぽの会

理念と基本方針

当法人は、「人間性尊重」を基本理念とし、次に掲げる基本方針に基づいて地域福祉を推進していきます。

1. 個別相談支援の推進

利用者一人ひとりのニーズに注目し、その人らしい自立のあり方を共に考えたサービス等利用計画及び個別支援計画等を作成・実施します。支援サービスの提供にあたっては、利用者との信頼関係の構築に努め、インフォームド・コンセントに基づいて、サービス内容を分かりやすい言葉で説明し、十分に理解を深めていただき、納得して頂くことを徹底します。また、個人情報保護を徹底します。

2. 生きる喜びと意欲の醸成

利用者が快適に過ごすことができる場の提供に努め、生きる喜びと意欲を育てていきます。支援サービスの展開にあたっては、利用者が主体的にサービスを活用しつつ、利用者自身の力で地域生活が送れるよう支援していきます。

3. ネットワークによる支援の展開

利用者一人ひとりのニーズに注目した支援を展開するにあたって、法人内各事業に携わる職員相互や関係機関とのコミュニケーションを良好にし、それぞれの専門性を活かすチームアプローチを心がけ、支援のネットワークを構築していきます。さらに、支援サービスに不可欠な資源の調整・開拓・企画等に関して、医療や行政サービス等とパートナーシップを組み、支援ネットワークの一員としての責務を果たします。

4. 人材の育成

利用者一人ひとりのニーズに応え、必要な支援サービスを提供できる人材を育成していきます。職員個々の相談援助技術や専門性を高めるための研修等の機会の提供及び評価制度を実施します。また、市民を対象とした福祉関係資格に関する相談・情報提供、ボランティア養成講座、普及啓発活動等を推進し、地域の中に支援サービスの人材を育てていきます。地域の人材として、利用者自身の可能性も育てていきます。

5. サービスの質の向上を図るための経営の健全化

利用者一人ひとりに対する支援サービスの質の向上を図っていくために、経済基盤の安定を追求していきます。適正な収益の確保と共に、効率的な運営のための改善などの経営努力を重ねていきます。また法人事業全般の積極的な情報開示及び第三者による評価を受審します。